

## 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた 市長メッセージ

新型コロナウイルス感染症の県内新規感染者数の増加により、8月12日に岩手緊急事態宣言が発令されました。その後、新規感染者数はしばらく高止まりの状態でしたが、9月以降徐々に減少し、直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数が10人を下回った9月16日に宣言が解除されました。

奥州保健所管内におきましても、7月下旬から連日のように複数人確認されていた新規感染者が、ここ1週間は1日平均1人未満となり、急速に減少しております。

このことは、市民の皆さまが、不要不急の外出の自粛、基本的な感染防止策の徹底など感染拡大防止にご協力をいただいた結果であり、心より感謝申し上げます。

県の緊急事態宣言は解除されましたが、気を緩めることなく、次のような感染拡大防止のための行動をお願いします。

- ・ 緊急事態宣言区域及びまん延防止等重点措置区域との不要不急の帰省や旅行などの自粛
- ・ 感染が拡大している地域等との往来の慎重な判断
- ・ 全ての場における、手洗い、消毒、常時マスクの着用など基本的な感染対策の徹底
- ・ 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため「ゼロ密」を目指すこと

奥州市におきましては、新型コロナワクチン接種を希望する方が少しでも早く接種できるよう全力で取り組んでおります。

2回の接種を終えた市民の割合は、65歳以上が約90%、市民全体では50%を超えており、今後は、50歳未満の方の接種を段階的に開始し、12月までに接種を希望する市民のほとんどが接種できる見込みとなっております。

ワクチン接種は、自分自身や大切な人のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなりますので、ワクチンの効果と副反応とを十分に理解したうえで、積極的な接種をお願いします。

感染者や濃厚接触者、医療従事者やそのご家族などに対する差別や偏見、誹謗中傷などの行為は厳に慎み、思いやりのある行動をお願いします。

また、身体的な要因などのさまざまな理由により、ワクチンを接種したくてもできない方もいますので、ワクチン接種に関連した差別や偏見、誹謗中傷などにつきましても厳に慎むようお願いいたします。

令和3年9月17日

奥州市長 小沢昌記